

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

嶮山小通信

6月号

横浜市立嶮山小学校

TEL:902-7161,7162

FAX: 904-4254

令和 3年 5月31日

校長 山口 昭代

ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>



コロナ禍の学校生活でも

副校長 鎌田 忠裕

この度、嶮山小学校に着任いたしました、副校長の鎌田忠裕(かまたただひろ)と申します。保護者の皆様はじめ、PTAや地域の皆様など、多くの方々によって築かれてきた嶮山小学校に着任できたことをうれしく思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、学校の教育活動は昨年度から引き続き、横浜市教育委員会の指針「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」に基づいて行っています。コロナ禍での学校生活では、マスクの着用、換気、家庭と連携した健康観察表、給食は前を向いての黙食、校内の消毒などが日常の当たり前となり学校生活を送っています。嶮山小学校の子どもたちも登校時からソーシャルディスタンスを意識する姿が見られます。また、学校では体育や音楽、家庭科等の各教科の学習活動や学校行事等に制限がある中でも、「感染症対策を講じながら、今できることは何か」を検討し、教職員間の共通理解を図り、様々な工夫や配慮をしながら教育活動をしています。コロナ禍の学校生活にあっても「学習機会と学力の保障」を行っていくのと同時に、何よりも子どもたちが「学校で学ぶことは楽しい」と感じる場であってほしいと思います。

私たち教職員は、嶮山小学校の子どもたちのために、感染症対策を講じながら「学校だからできることは何か」を考え、嶮山小学校のチーム力を生かしながら、今できる最大限の教育活動を行っていきたいと考えています。引き続きマスクの着用、健康観察と検温などの感染防止対策にご協力をお願いいたします。

【令和3年度 本校の水泳学習の方向性について(令和3年5月31日現在)】

「令和3年度の水泳授業の取り扱いについて」、スポーツ庁や、文部科学省の通知や学習機会の確保の観点から、市教委育委員会より「各学校において、丁寧に健康観察や健康診断を行い、家庭や児童生徒との健康面についての共通理解を図った上で、学校の実態や状況に応じて、可能な範囲で授業を実施してください。」と通知がありました。それを踏まえて、本校でも今年度の水泳授業の取り扱いについて検討を重ねました。児童数や学級数、指導体制等を考慮した結果、今年度の水泳学習を健康や安全に留意して、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで実施していきます。

次のことに留意して水泳学習を実施します。

◎毎日の健康観察表の確認、健康観察により、児童の健康状態を把握したうえで実施します。

◎プール水の残留塩素濃度の管理を適切に行います。(濃度が確認できるまでは入水不可)

◎飛沫感染と接触感染の予防を徹底するために

・プール及びプールサイドで、児童の間隔を1~2m程度保つため学級単位で行います。

・指導者は、担任1名+職員3名の計4名の体制で行います。

・マスクを外す場面では、他の児童との間隔をとり、会話はしないようにします。

◎見学者について

他の児童との距離の確保が難しいため、プールサイドでの見学はしないで教室で学習します。

※今後の感染状況によっては、変更となる場合もあります。